

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則および監督会議の申し合わせ事項により実施する。

2 練習及びウォーミングアップについて

(1) 本競技場

- ①大会準備終了後(開会式の時を除く)から競技開始20分前までの使用を認める。
- ②トラック内の芝エリアでは、ジョギング、体操、ストレッチ、ドリル、投てき等は禁止とする。
(ジョギングはトラックの外周を使用すること。)
- ③周回1・2レーンは中長距離・競歩、3～6レーンは短距離・リレー、7・8レーンはハードルとする。
- ④ホームストレートの3～6レーンは短距離、7レーンは100mH、8レーンは110mHとする。
第1コーナーからバックストレートの7レーンは女子400mH、8レーンは男子400mHとする。
※1・2レーン以外の第4コーナーからホームストレートへの練習は禁止とする。
- ⑤跳躍種目は競技準備終了後、係員の指示に従って行うこと。
- ⑥投てき種目は、使用不可とする。

(2) サブトラック

- ①走幅跳ピットをSDゾーンとする。
- ②110mH・100mHについては、ホームストレート3・4レーンを使用する。
※使用したハードルなどの用器具はセットされてあった所定の位置に戻しておくこと。
- ③レーンの逆走・横断は絶対にしないこと。
- ④バトン練習は指示された時間以外は禁止とする。 ※競技開始の1時間30分前から使用可
(バトン練習は1～2レーンのみ)
- ⑤跳躍種目、投てき種目は練習不可とする。

3 招集について

- (1) 招集所は、正面玄関東側に設ける。
- (2) 招集チェック時刻終了までに、本人または代理人が、招集所に提示した出場者一覧表に、出場の場合は○をつける。その際、トラック種目出場者は、腰ナンバーシールを1枚持っていくこと。
・4×100mRは最終走者のみ ・4×400mRは2・3・4走者のみ
・3000m以上の競技は2枚必要(1枚は胸につける)
- (3) 棄権する場合は、棄権届(招集所)に記入し、招集チェック終了時刻までに招集所に提出すること。
- (4) 多種目同時に出場する競技者は、あらかじめ多種目同時出場届(招集所)に記入し、最初の種目の招集チェック終了時刻までに招集所に提出すること。なお、審判員にも申し出ること。
- (5) 招集チェック終了時刻及び招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなす。
- (6) リレーに出場するチームは、開始1時間前までに所定のオーダー用紙に記入して、招集所に2枚提出すること。
- (7) 招集完了時刻及び招集チェック終了時刻は、次のとおりとする。
一次招集において、出場者は○、棄権者も×印をつけること。

		一次招集(チェック終了)		最終招集(招集完了)	
トラック	競技時刻	60分前	招集所	10分前	スタート地点
投 擲	競技時刻	60分前	招集所	30分前	競技場所
跳 躍	競技時刻	60分前	招集所	30分前	競技場所

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、各自の登録ナンバーを胸部と背部につけること。ただし、跳躍種目の競技者は、胸部または背部の片方だけでよい。**(小学生はアスリートビブスなし)**
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーシールをパンツの右横やや後方につけること。また、3000m以上の競技については、周回確認用として腰ナンバーシールを胸部につけること。
- (3) 4×100mRの第4走者、4×400mRの第2・3・4走者は、腰ナンバーシールをパンツの右横やや後方につけること。

5 競技について

(1)トラック競技

- ①トラック競技はタイムレース決勝とする。
- ②レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空けること。
- ③セパレートレーンの競技においては決勝線通過後コーナーに沿って自分のレーンを走り他の走者の妨害をしないこと。
- ④800m競走は第2コーナーの出口までセパレートとする。
- ⑤4×100mRの第2・3・4走者は、マークを1カ所使用することができる。(マークは必ず撤去)
- ⑥4×400mRは第2走者の第2コーナーの出口までセパレートとする。
- ⑦5000mWにおいては、男女共に35分を超えて最終周回に入らなかった選手は失格とする。
5000mにおいては、20分を超えて最終周回に入らなかった選手は失格とする。

(2)フィールド競技

- ①投擲の練習は、審判員の指示以外勝手に練習しないこと。
 - ②跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)にマークを2個まで置くことができる。
 - ③走高跳、棒高跳の練習跳躍および試技開始の高さについては、競技役員の指示に従うこと。
- (2)スパイクシューズ及び投擲用シューズは競技規則に適合したものとし、招集所ならびに競技場内で点検を行う場合がある。

6 バーの上げ方について

- (1)走高跳の練習の高さ及びバーの上げ方次の通りとする。

	練習跳躍	試技開始
男子	130cm・170cm	130cm
女子	115cm・145cm	115cm

180cmまでは5cm刻み 以降3cm刻み
145cmまでは5cm刻み 以降3cm刻み

- (2)棒高跳については、申告のあった高さで開始する。

7 競技場の退場について

- (1)トラック競技は第一ゲートより退場する。フィールド競技は、審判員の指示に従って退場する。
- (2)正面スタンド前は特別な用がない限り通り抜けないこと。

8 表彰について

各種目第3位までの入賞者に賞状を授与する。ただし、表彰式は行わない。
※中学生については各種目上位3位まで別途賞状を授与する。(リレーは除く)

9 その他

競技をする選手以外は、競技場内に立ち入らないこと。

10 個人情報の取扱及び盗撮防止について

- (1)主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令を遵守し個人情報を取り扱う。
なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (2)大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- (3)大会時の写真・動画については、ソーシャルメディア(SNS、電子掲示板、ブログ、投稿サイト、情報共有サイト等)で掲載及び配信をしないこと。ただし、団体及び個人が、事前に許可を得ている場合はこの限りではない。
- (4)撮影にあたっては、主催者の指示に従うこと。